



関 中 学 校 だ よ り

第2号 平成23年6月8日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyo.ed.jp/>

ちからの泉

校長 勝亦章行

平成23年度がスタートして2ヶ月が過ぎました。季節は初夏。関中のシンボルである櫓も新緑からしだいに濃い緑に変わっていています。今週の11日(土)には、運動会が開催されます。朝練習、学年練習、全体練習と熱心に練習を重ねています。ぜひ、運動会にはお越し下さい。頑張っている生徒に応援をよろしくお願いします。

関中の校歌の中に「濃いみどりの木々は さわやかに讃えるよ 伸びゆく若木 ちからの泉」・・・この「ちからの泉」とは、正門の大きな櫓の下にある石造りの苔むした水槽です。時には、小鳥が水浴びや水飲みをしていることもあります。自然の潤いを感じる一画です。

「ちからの泉」という名称の理由は定かではありませんが、校歌の中にも歌われている泉。正門の櫓と同様、関中のシンボルです。

★3年修学旅行 成果を残し、無事に終わりました。

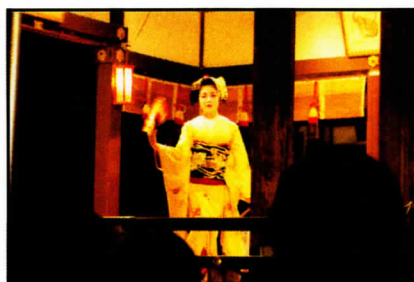
5月24日(火)～26日(木)二泊三日で3年生は奈良・京都に修学旅行に行ってきた。行程の以下の通りです。

- 1日目：東京駅→(新幹線のぞみ)→新大阪駅→(観光バス)→法隆寺→(観光バス)→奈良公園(東大寺等)→(観光バス)→京都宿舎
- 2日目：京都宿舎→京都市内班行動→京都宿舎→夕食後に鑑賞教室
- 3日目：京都宿舎→タクシー班行動→京都駅→(新幹線のぞみ)→東京駅

出発する朝は雨でしたが、それ以外は天気にも恵まれ、けがや事故なく、修学旅行の目的を達成し無事に終わることができました。



奈良 法隆寺



雅楽・舞子さんの舞踊鑑賞(護王神社)

★全校朝礼の話から

4月11日(月)「人の話は、耳で聴き、目で聴き、心で聴きなさい」人の話を聞く際の大事な点は、①人の話は、傾聴して聞くこと。ただ音として聞くのではなく、傾聴(耳を傾ける、注意深く聞く)すること。②人の話は、目で聴くこと。声だけを聴くのではなく、その人の表情、動作など視覚的に聴くこと。より感情の起伏が伝わってくる。③人の話は心で聴くこと。ただ音として聞くのではなく、想像力を働かせて、頭にその情景を想像したり、自分自身のことに当てはめてみたりしてみる。人の話は、「耳、目、心」で聴くこと。大切なことです。

6月・7月 行事予定

日	曜	予定
1	水	1年学年練習 校内研修会
2	木	3年歯科検診 2・3年学年練習
3	金	教育実習終 運動会全体練習 1・2年学年練習
6	月	全校朝礼、全体練習、3年学年練習
7	火	運動会予行
9	木	耳鼻科検診 校区别協議会
10	金	英語検定
11	土	第37回運動会
12	日	運動会予備日
13	月	振替休業日
20	月	避難訓練
22	水	区中研修日
23	木	中間考査
24	金	中間考査
27	月	生徒朝礼
29	水	学校公開始 職員会議
7月		
2	土	道徳授業地区公開 講座、3年進路説明会、学校公開終
4	月	振替休業日
5	火	2・3年都・区学力調査
6	水	オーケストラ鑑賞教室
7	木	三者面談
8	金	三者面談、避難訓練
11	月	全校朝礼、三者面談
12	火	三者面談
13	水	三者面談 2年職場体験
14	木	三者面談 2年職場体験
18	月	海の日(祭日)
19	火	大掃除
20	水	全校集会 セーフティ教室
21	木	夏季休業始

5月16日(月)「言葉の大切さについて。言葉には力がある。一つの言葉で励まされ、一つの言葉で友人を傷つけてしまうことがある。言葉を大切に使うこと。」そこで、詩を紹介します。作者不詳。しかしとても考えさせられる詩です。

一つの言葉

一つの言葉で喧嘩して	一つの言葉で仲直り
一つの言葉で頭が下がり	一つの言葉で笑いあい
一つの言葉で泣かされる	
一つの言葉はそれぞれに	一つの心を持っている
きれいな言葉はきれいな心	やさしい言葉はやさしい心
一つの言葉を大切に	一つの言葉を美しく

★1年臨海学校は、今年度は東日本大震災に伴い「中止」になりました。

毎年中学校1年生を対象に、区の宿泊施設である岩井、下田で実施していた臨海学校ですが、3月に発生した東大震災に伴い、本年度は「中止」とするの通知を正式に教育委員会より受けました。

理由は、(1) 気象庁は、この1年あまりは引き続き余震および誘発地震に警戒が必要であるとの見解を示していること。(2) 余震および誘発地震による津波が発生した場合、それに伴い、遠泳中に津波警報が発令された場合など、生徒の混乱や緊急避難など、安全確保が図られない状況が予想されること。以上の理由により中止になりました。

★東日本大震災に伴う対応について

- (1) 震度5弱の地震が発生した場合は、生徒を下校させます。原則として教員引率での地区別の集団下校をさせます。ただし、地域の状況を教職員が検分して安全の確認してから下校させます。危険と判断した場合は、留め置きます。
- (2) 震度5弱の地震発生で、練馬区内小中学校は、避難拠点として開設します。まず区拠点要員と学校要員が中心となって避難拠点を運営し、その後、町会・自治会などの地域住民の協力を得て「避難拠点運営連絡会」が運営します。学校は、生徒の安全確保、身柄確認、授業再開に向けての取組を行います。関中学校は、医療救護所、給水拠点(武蔵関公園井戸より給水)にもなっています。
- (3) 避難拠点としての活動は次の通りです。①簡単な手当や健康相談 ②水、食料の配給 ③避難生活の支援 ④復旧、復興情報の提供 ⑤被災者からの相談受付等
- (4) 水筒の持参については、すでにプリント配布をしていますが、許可しています。各家庭の判断で持参して下さい。中身については、水、お茶、スポーツドリンクです。
- (5) 防災頭巾については、小学校で区よりもらったものがあると思います。各家庭の判断で、学校に持参し、自分の椅子にかけておいてかまいません。避難下校する際に使って下さい。

★PTA総会での質問に答えて

5月18日(水)午前10時より、本校図書館にて平成23年度のPTA総会が開催され、今年度方針、活動内容、予算案が協議・承認され、PTA活動が本格的にスタートしました。その際に、二つの質問が出ましたので、学校よりでお答えします。

- (1) 芝生の維持管理について維持管理費はどうなっているか。
芝生の維持についてはPTAで芝ボランティアを募り、週2日を基本に活動をしていただいています。芝生を導入した際についていた都の予算は現在はありませんが、区より芝生維持管理の消耗品費として予算化されています。肥料等の消耗品を購入することができます。学校としては、PTAの協力を得て、潤いを与える教育環境の一環として芝生の維持管理を進めていきたいと考えています。
- (2) 今年度の夏の節電については、どのようになるのか。
練馬区は、平成23年練馬区節電実施計画を策定し、区立施設323施設について各施設の前年同月の総電気使用量の15%以上の削減を目標として、学校グループの節電目標は「昨年夏と比較して、マイナス18%」としています。節電実施期間は、7月1日～9月30日まで。今後、節電行動計画書を作成します。具体的には、①必要以上の照明を使用しない。必要最低限の照明にする。②エアコンの設定温度28℃を厳守し、こまめにスイッチを切る。③エアコンフィルターの掃除を行い、エアコン機能を高める。④学校全体で節電キャンペーンをする。など日頃からの意識を高める活動を行う。等の節電を行います。

★職員紹介(関中学校だよりNO.1)の訂正等

・教科が違っていたので訂正します。木積一博(理)→(社)、川邊真梨子(国)→(英) ・氏名が違っていたので訂正します。用務主事 小泉三佐夫→小泉美佐夫 ・鶴澤由季子(英)主任教諭は、教職大学院に1年間、派遣研修に出ています。 ・数学の非常勤講師が新たに決まりました。吉田尚子先生です。